

保 育 案

2005(平成17)年 8月 3日(水)		3歳児 たんぼぼ組	男児 9名 女児 9名 計 18名	担任名 植田 桂子
<p>子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏期保育3日目で、園生活のリズムを取り戻し、友達や教師と一緒に楽しんで遊ぶ姿が見られるが、休み明けで生活のリズムが取り戻せず、身の整理に時間がかかる子どももいる。 トマトやエダマメの生長を喜び、収穫することを楽しみにしている。 前日までに楽しんできた水遊びや色水遊びなど、自分の好きな遊びを見つけ、喜んで遊ぶ様子が見られる。 見学者がいらっしゃることで、落ち着きがなかったり、遊びに入れずに見ている子どももいる。 		<p>本日のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> 神様のお守りの中で、友達や教師と元気に遊べることに感謝する。 トマトやエダマメの水やりや収穫をして、実や葉が大きくなったり、色づいたりしている様子に気づき、生長を喜ぶ。 染め紙遊びを通して、色の混色や、偶発的な模様ができることを楽しむ。 自分の持ち物や使った物を一人で片付けようとする。 		
時間	生活の流れ、子どもの活動(予想)	教師の留意点、援助、個別への配慮(印)など	環 境 の 構 成	
8:40	<p>登園する</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達や教師と挨拶を交わす 身の整理をする シールを貼る タオル・コップ・帽子・靴を片付ける 好きな遊びをする ザリガニや金魚の世話をする トマトやエダマメの水やり、収穫をする <p>雨天時はテラスで行う</p> <p>(ホール横だい地)</p> <ul style="list-style-type: none"> 染め紙(3色の絵の具を使って模様を作る) 水遊び(いろいろな容器を使って遊ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> 登園してくる子どもを笑顔で迎え、一人ひとりと会話をしながら、その日の体調や気分などを視診する。 身の整理をしている子ども一人ひとりに目を配り、最後まで一人で出来るように適切な援助や言葉掛けをする。 トマトやエダマメの世話をする際に、子どもが前日からの変化に気付いたり、実りを喜べるように、伸びている茎を支柱に結び、見やすくしておく。 教師自身が楽しんで遊び、子ども達が「自分もやってみたい」と意欲が持てるように、楽しさを伝えることを心掛ける。 染め紙遊びでは、紙の折り方や絵の具の付け方に変化を持たせ、様々な模様出来る楽しみを子どもが味わえるようにする。 		
9:50	<p>片付けをする</p> <ul style="list-style-type: none"> 排泄・手洗い・うがい 汗をタオルで拭く・水分補給をする 	<ul style="list-style-type: none"> A(男児)は、好きな遊びでは、見学者が来られたことで、落ち着きがなかったり、興奮することが予想される。興味のある遊びに誘い、教師と一緒に遊ぶことで、安定できるようにする。 遊びの中で、子ども自身の言葉に耳を傾け、気付きや感動をよく捉え、共感する。 		
10:10	<p>朝の集まりをする</p> <p>(たんぼぼ組・ひよこG合同) 場所:たんぼぼ組</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の挨拶をする 出席、欠席の友達を知る 合同礼拝をする(たんぼぼ組・ひよこG) 奏楽を聴く お祈りをする 聖句を暗誦する 讃美歌「うみでおよぐ」を歌う トマトやエダマメの育ちについて話を聞く 後奏を聴く 排泄・手洗いを 	<ul style="list-style-type: none"> A(男児)B(女児)C(女児)D(男児)は、遊びから集まりへの気持ちの切り換えに時間を要するので、早めに次の活動を知らせたり、興味が向くような手遊びなどを取り入れる。 ひよこグループの子ども達を紹介し、一緒に集まりや礼拝をすることを伝える。 		
10:30	<p>降園準備をする</p> <ul style="list-style-type: none"> コップ・タオル・色帽子・水筒・上靴 着替えを持ち帰る準備をする 帰りの集まりをする <p>(たんぼぼ組・ひよこG合同)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師と夏期保育で楽しかったことを話す 日曜日の教会学校のことを聞く 歌「えだまめポン」を歌う お祈りをする 友達や教師と挨拶をする 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が穏やかな気持ちで礼拝に臨めるように、室内の環境を整え、雰囲気作りをする。 幼稚園で友達や教師と遊べたことや欠席している友達のこと、園に来てくださった見学者のことを覚え、感謝のお祈りをする。 写真や収穫したものを見せながら、トマトやエダマメの生長の姿が分かるように配慮する。 休みの間の飼育物やトマト、エダマメのお世話を、園の方で職員がすることを伝える。 子ども達一人ひとりを保護者に確実に渡し、今日の様子について報告する。 		
11:00	<p>降園する</p>			